

平成27年度 市立大森病院 方針書

市立大森病院 事務局長 金澤和彦

1. 市立大森病院の使命（役割）

- 保健・医療・福祉・介護が一体となった「地域包括医療・ケア」を推進し、地域住民の健康増進、保健衛生並びに高齢者福祉に関する医療サービスを提供していく。
- 安全で安心な医療の提供と健全で安定した経営の確保と共に、地域に信頼され、魅力ある病院づくりを推進する。

2. 平成27年度における課題（前年度の振り返りから）

- 経営健全化への取り組み（収益確保と経費削減）
- 医師、看護師等の人材確保とその負担軽減と質の向上
- 病院機能評価の再受審
- 感染対策の徹底と強化（院内感染ブレーク防止）

3. 平成27年度の『スローガン』

「明るく、元気に、前向きに！！」

4. 年度目標となる方針（目標）

- 地域で信頼される病院づくりと安全で安心な医療の提供
- 地域包括ケアの拠点として地域の医療や介護を支えるハブ機能を有する病院
- 経営健全化への早急な取り組み
- `新公立病院改革プラン`の策定

5. 重点取組項目

(1)	項目	健全経営に向けた取組み
	取組内容	○病院機能評価再受審(3rdG:Ver1.0) ○具体的なコスト削減と原価計算の実践(不採算部門見直しの着手等) ○組織強化への取り組み(人材開発の強化・育成、人材(財)評価システムの構築) ○BCP(事業継続計画)の策定
(2)	項目	地域密着型病院としての取組み
	取組内容	○地域包括医療・ケアの更なる充実 ○地域住民との協働(ナイトスクール、地域貢献活動の実施) ○地域と患者さん、そして、職員にとっても魅力のある病院づくり ○在宅看取り、グレースケア・レスパイトケアの更なる推進
(3)	項目	「地域医療構想」を踏まえた`新公立病院改革プラン`の策定
	取組内容	①地域医療構想を踏まえた役割の明確化:地域医療構想調整会議への働きかけ ②経営の効率化:経営指標にかかる具体的数値目標の設定 ③再編・ネットワーク化: ④経営形態の見直し:

6. 方針に対する年度上期（4月～9月）の取組みの状況 【現状】

- ・病院機能評価更新に向け、H27.7.23訪問受審支援の実施、支援セミナーへの参加（7月・9月）
- ・不採算部門の見直し。（応援医師の見直し）
- ・地域住民との協働の取り組みとして、7/28ナイトスクール（2回目11月・3回目3月を予定）、糖尿病教室、認知症講演会、大森地域クリーンアップの実施（健康の丘⇄大森総合学習センター）
- ・院内保育所利用者は9月末現在10名。（一時保育含む）今年度中に2名利用見込む。
- ・組織強化の取り組みとして、特定行為看護師の育成に着手。（看護師特定行為研修に1名参加）

7. 年度下期（10月～3月）に向けた課題と取組みの方針【ギャップと対策】

- ・マンパワーについて、産休育休取得者の増により、看護師・看護補助者が不足しているため、院内保育所や育児時間、夜勤免除など早期職場復帰に向けた支援制度についてPRを行う。また、職員確保に向けて、HP、広報、ハローワーク等各種媒体を活用し職員確保に努める。
- ・人事評価システムについて、試験導入に向けて評価者研修、被評価者研修の手法、スケジュールを早急に検討する。
- ・昨年度インフルエンザ、角化型疥癬のブレイクが収益悪化の一因となったことから、感染対策を強化し流行期を乗り切る。

8. 総括 取組みの結果と成果、次年度に向けた課題【結果と成果】

【結果と成果】

- 病院機能評価再受審(3rdG:Ver1.0)・・・訪問審査日H27.10/19～10/20→H28.1/15認定証交付。
- コスト削減と原価計算(不採算部門見直し着手等)・・・「経営改善検討会」の設置(H28.3/30)。
- 組織強化への取り組み・・・特定看護師・医療情報技師の確保。
- BCP(事業継続計画)・・・H27.9/1作成。
- 感染対策(院内感染ブレイク防止)・・・ヒトメタニューモウイルス及びインフルエンザの院内感染ゼロ！！

【課題】

- 経営健全化への取り組み・・・「経営改善検討会」の設置と外部コンサルの段階的導入。
- 「地域医療構想」を踏まえた「新公立病院改革プラン」の早期策定。